日本一の新エネルギーの町として情報発信に努めます。

施策4 資源を活かした産業を推進するまちづくり

農業全般　経営感覚に優れた農業経営体や担い手農家を引き続き育成するとともに、主業型農家と小規模・兼業農家が役割分担のもと、農業の経営が将来にわたって持続可能となる低コストな生産構造への転換と総合的な技術・経営支援の強化を図ります。

農山村活性化　都市と農山漁村の共生・交流を促進するため、「農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業」により、農林漁業体験交流施設を整備します。

乳用牛対策　新規事業として松村牧場で生産され岩手県で初めて全国に凍結精液を提供する種雄牛として選ばれたパインツリー・リョウ・エボニーの産子の増殖を図るため精液購入経費に助成します。

さらに、畜産経営を支援するため、新たに土壌分析、飼料分析、堆肥分析を進め、効率的な施肥によって、良質な粗飼料生産と肥料の低減化が行われるよう支援します。

林業振興　町森林組合が導入する高性能林業機械に助成し、森林の適正管理と町産材の利用促進を図ります。

商工業の振興　中心市街地でのイベント開催を支援するとともに、製造業等を中心とした企業誘致に取り組みます。

定住対策　農家等のご協力をいただきながら土地提供者を登録する制度を設け、土地取得者や若者定住者に対する各種の支援制度を創設します。

また、すでに体験・受け入れ事業に取り組んでいる第三セクターや林業関係団体等と連携しながら、全町的な受け入れ態勢の強化に取り組みます。

施策5 人と文化を育むまちづくり

教育の充実　幼児教育の推進、小中学校教育の充実、地域の高等学校の存続発展など教育環境整備に取り組みます。

二十二年度に予定する葛巻小学校屋内運動場改築工事に向けた実施設計作成に着手し、葛巻中学校グラウンド整備工事、スクールバス二台の更新などを行います。

高等学校教育の振興　今後とも葛巻高等学校の魅力ある学校づくりを支援しながらその存続発展に展望を切り開いてまいります。

また、今年度は葛巻高等学校郷土芸能部が全国高等学校総合文化祭に出場しますので、その出場経費を助成して活躍を期待するものです。

施策6 交流を広げ、誇りをもって情報発信するまちづくり

町道　新規路線として毛頭沢線、渋谷地線、辰鼻線、野中線、町裏線の整備に着手します。

地域情報化　二十年度に整備した地域イントラネット基盤の充実を図るため、屋外告知端末を十一カ所、保育園などの公共施設への光ファイバ接続六カ所を追加整備するほか、地上デジタル放送への完全移行、ブロードバンド・ゼロ地域の解消に向け町民の皆さまへの周知と加入意向の集約、基盤整備にかかる実施設計などを進めます。

教育行政方針

ふるさと教育の実現に向けて

議会で初めての教育行政方針を述べる千葉洋一教育委員長

平成二十一年度の教育行政方針について申し上げます。

教育委員会は、地域を知り、地域から学ぶ「ふるさと教育」の実現に向けた諸施策を推進します。

〔第1　教育の充実〕

学校教育の目標は、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む人間形成そのものにあります。

「確かな学力」をしっかりと身に付けさせるため、一人一人の児童生徒の学習状況や課題を的確に把握し、きめ細やかな学習指導の充実に努めます。

「豊かな心」を育てるために、体験学習を取り入れ、基本的な生活習慣や規範意識の定着、人間のモラルの育成、道徳教育を充実します。

「健やかな体」を育むために、運動に親しむ機会や体育行事の充実、健康診断の実施など保健指導にも努めます。

今年度から小中学校の新たな学習指導要領が先行実施され、全小学校の高学年に一定時間の外国語活動が始まり、中学校では体育に武道を取り入れることになりますが、これらに適切に対応します。

学校給食を中心とする「食の教育」にも力を入れます。三食をしっかり食べることやおいしく食べることの大切さを啓発し、「町産食材による給食の日」を設け、生産者をはじめ地域の方々とのふれあいと語らいのある給食を目指します。

高等学校教育の振興は、町行政と連携して県立葛巻高等学校の魅力ある学校づくりへの支援と存続発展に努めます。

〔第2　生涯学習の充実〕

町民一人一人が学習活動に取り組むことによって、人は生き生きと輝き、まちに活力も生まれてきます。

「町民まなびぃ学園」「子どもの未来を考える町民の集い」を開催します。成人式典や四十歳のつどい、六十歳のつどい、高齢者大学の開設なども本町ならではの取り組みとしてさらに発展させます。

公民館図書室では、絵本の読み聞かせから図書へのふれあいを促すブックスタート事業にも取り組みます。

〔第3　生涯スポーツ・レクリエーションの推進〕

幼児から高齢者まで全ての町民が参加できる国際チャレンジデー、町民総合体育大会とスポーツ・レクリエーション祭の開催と合わせ、水泳やスキー、ニュースポーツなど町民の要望に応えたスポーツ教室にも取り組みます。

競技力向上と生涯スポーツ社会実現のため、総合型スポーツクラブの組織化にも努めます。

〔第4　文化の創造と継承〕

町民が地域を愛し、文化に誇りを持ち、地域全体の文化環境を高めていくために、芸術文化活動に親しむ機会を充実します。特に、「俳句で文化の薫るまちづくり事業」を継続し全国的イベントに拡大するとともに、町民の俳句人口増加を目指します。

豊かな心を育てるために行われる体験活動
薪フェスタで林業体験する子どもたち

施策7 協働のまちづくり

住民参画　地域で助け合う「結い」の再生事業を柱とした協働のまちづくり事業を継続して、ひと・地域・まちの魅力を一層高める自主的・主体的な活動を支援してまいります。また、地域担当職員による行政情報の提供や審議会等への公募枠の設置、町政懇談会を開催し、まちづくりへの参画機会の拡充を図りながら、地域と行政の協働を推進してまいります。

むすびに

今回の世界的な不況は、百年に一度のものと言われておりますが、〝ピンチは大きく伸びるチャンス〟でもあります。

今後は、ますます農山村の自然、その自然が育む食、あるいは先人から受け継がれてきた自然と共生する術（すべ）への価値感が高まり、農山村の存在が見直される時代になるものと確信しております。

こうした時代背景を踏まえ、お互いが助け合い、世代間で支え合いながら、私たちの先人が残してくれた美しい豊かな自然という貴重な財産（資源）を最大限に生かした循環型の地域社会の構築を、まちづくりの基本的方向として念頭に置き、町民の皆さまが「住み続けたいと思える町」、「誇りを持てる町」として山村のモデルとなりうる町づくりを目指してまいります。

今こそ町民が力を合わせ、困難を乗り切るとき。
冬まつりで一致団結して綱引きに挑む人たち